

日本赤十字社山形県支部現勢

1 沿革

明治20年(1887)10月28日 日本赤十字社山形委員部設立
 明治29年(1896)7月1日 日本赤十字社山形支部に改称
 昭和28年(1953)2月13日 日本赤十字社山形県支部に改称

2 会員 185,340 (個人 184,777 人、法人 563 法人)

※赤十字有功会 会員数300(法人229、個人77)

3 評議員、代議員及び役員

- 評議員 29 人
- 本社代議員 清野 伸昭(理事)、内藤 文徳
大石 俊樹、井上洋一郎
- 役員 支部長 吉村 美栄子
副支部長 平山 雅之、佐藤 孝弘
監査委員 原田 俊二、五十嵐 雪子、佐藤登美子

4 青少年赤十字(令和5年3月31日現在)

幼稚園、保育園	19 園	2,006 人
小学校(義務教育学校を含む)	86 校	19,255 人
中学校	44 校	10,874 人
高等学校	25 校	2,047 人
特別支援学校	2 校	80 人
計	176 校	34,262 人

5 赤十字ボランティア(令和5年3月31日現在)

地域奉仕団	36 団	3,767 人
青年奉仕団	2 団	177 人
特殊奉仕団	5 団	229 人
計	43 団	4,173 人

※地域奉仕団は23市町村で結成

6 災害救護

常備医療救護班	9班77 人(9自治体病院に編成)
防災ボランティア	69 人
無線局	25 局
救援用等車両	9 台
活動用資器材	救護所用大型テント2張、エアータント2張 ワンタッチテント6張、NBC災害除染セット1式 野外炊飯器7台、救護用折りたたみベッド40台 発電機4台等
備蓄救援物資	毛布 2,596枚、緊急セット 842個 安眠セット 778個、タオルケット 2,814枚 学用品セット 265個、食料品(飲料水、レトルト食等) 段ボールベッド147台、避難所用簡易テント100張
火災等被災者援護	74 世帯 155 名(令和4年度)

7 救急法等の普及(令和5年3月31日現在)

	指導員数	受講者数
救急法	121 人	8,311 人
水上安全法	24 人	506 人
雪上安全法	3 人	65 人
幼児安全法	34 人	1,179 人
健康生活支援講習	3 人	8 人
計	185 人	10,069 人

8 国際活動

- 第1ブロック支部共同による国際支援事業
ラオスにおける救急法普及支援事業
バヌアツにおける青少年赤十字海外支援事業

9 血液事業

- 血液センター 1
- 出張所(献血ルーム、庄内出張所) 2
- 車両(移動採血車4、献血運搬車10) 14
- 献血者数(令和4年度)
200mL 985 人 400mL 27,779 人
成分献血 13,308 人 計 42,072 人
- 供給本数(200mL換算)(令和4年度)
赤血球製剤 52,940 単位 血漿製剤 15,488 単位
血小板製剤 60,820 単位 計 129,248 単位

10 施設及び職員数

	施設数	職員数
支部事務局	1	13(2) 人
血液センター	3	80(30) 人

※()内は再雇用・嘱託・非常勤嘱託・パートタイマー職員数で内数

11 会計

《令和4年度当初予算》

一般会計	歳入・歳出	265,850 千円
------	-------	------------

《令和4年度決算》

一般会計	歳入	307,937 千円
	歳出	276,175 千円 差引31,762千円

※特に断りのない統計数字等は令和5年4月1日現在